

# 第 6 期奥多摩町長期総合計画

## 基本構想・基本計画（案）

【閲覧専用】



令和 6 年 1 2 月

奥 多 摩 町

## 基本構想・基本計画の構成

### 基本構想

まちの将来像（全体）

私たちが大事にする姿勢

未来をつくる3つのコンセプト

活性化

持続化

効率化

### 基本計画

3つのコンセプトに基づく、具体的なまちの将来像

施策の方向性

関連する計画や事業案

# 長期総合計画の全体構成（案）

※印については、現在作成中です。

## 1. 第6期奥多摩町長期総合計画について

- 1-1 計画の目的 ※
- 1-2 策定の流れ ※
- 1-3 計画の位置づけ ※
- 1-4 計画期間
- 1-5 計画の全体構成とSDGs ※
- 1-6 計画の評価 ※

## 2. 奥多摩町の課題と未来 ※

- 2-1 第5期長期総合計画の評価 ※
- 2-2 住民アンケート ※
- 2-3 住民参加ワークショップ ※
- 2-4 奥多摩町の課題とみんなで描いたまちの未来 ※

## 3. 基本構想

- 3-1 まちの将来像
- 3-2 私たちが大事にする姿勢
- 3-3 未来をつくる3つのコンセプト
- 3-4 施策の体系

## 4. 基本計画(案)

### コンセプト1:活性化(創造する・挑戦する)

将来像① 生まれる・育む・挑むまちづくり

- 1. 子育て支援
- 2. 起業の支援
- 3. 観光資源の開発
- 4. デジタル化の推進
- 5. 住民参加型事業の開拓・展開

将来像② 作る・繋がる・広がるまちづくり

- 1. 広域連携の推進(庁内連携、他市町村との連携)
- 2. 幅広い世代が参加できる事業の充実・開拓
- 3. コミュニティの形成・活性化
- 4. 多様性の尊重
- 5. 住民サービスの充実

将来像③ 賑わう・満ちる・巡るまちづくり

- 1. まちの活性化
- 2. 観光資源の活用
- 3. 移住・定住促進
- 4. 公共施設・交通機関の充実・利活用
- 5. 暮らしの満足度向上

### コンセプト2:持続化(続ける・守る・再生する)

将来像① サステナブルなまちづくり

- 1. 資源を活かす・大切にすまちづくり

2. 子どもの成長を見守るまちづくり

3. 誰もが学び続けるまちづくり

将来像② レジリエンスなまちづくり

1. 交通インフラの整備されたまちづくり

2. 公共インフラの整備されたまちづくり

将来像③ セーフティーなまちづくり

1. 災害に負けないまちづくり

2. 犯罪・事故から人を守るまちづくり

3. 安全・安心して日常生活を過ごせるまちづくり

### コンセプト3: 効率化(無駄をはぶく・まとめる・やめる)

将来像① スマートなまちづくり

1. 効果的な組織運用、人材配置・育成

2. 建物の取捨選択

3. 情報発信の改革

将来像② フラットなまちづくり 同じ目線でみんなと育むまち

1. デジタル化などによる窓口業務の効率化の検討

2. 業務の遠隔化の検討

3. 業務負担の平準化と質の維持

4. どんな人でも同様のサービスを受けられる体制づくり

将来像③ リンク/シェア するまちづくり

1. 庁内の知識の共有や職員間の情報共有

2. 他自治体との連携強化

3. 町の魅力をシェアする

4. 住民の意見をシェアする

自治体運営の方向性 …行財政や総合戦略に関連する事項を記載予定 ※

### 資料編 奥多摩町の基礎データ ※

・概況(面積、人口、位置、構成) ※

・まちの歴史 ※

・産業と特産品 ※

・人口(高齢化率、人口流動、人口推計、移住定住) ※

・財政 ※

# 1. 第6期奥多摩町長期総合計画について

## 1-4. 基本計画

令和7（2025）年度～令和16（2034）年度（10年間）

## 3. 基本構想

### 3-1. まちの将来像

奥多摩町は自然豊かで、人口規模は約 4500 人と一人ひとりの顔が見えるまちです。奥多摩らしさを活かしながら、「一人ひとり」を大切に、想いをもってまちづくりを進めていきます。

### 自然の中で わたしが 暮らし つながり 挑戦できる おくたま



#### 《将来像に込めた思い》

住民ワークショップでいただいた様々な思いを含めて、目まぐるしく変化する時代でも変わることはないであろう、みなさんが大切にしている想いを込めました。

- 私たちは奥多摩の自然の中で暮らし、その奥多摩が暮らしやすい町になることで人とのつながりが生まれ、挑戦できる土壌ができていくと考えています。
- 本計画は町としてだけでなく、住民みなさん一人ひとりが主役であり、実現に向けて一緒に目指していくものであることから、自分事と捉えやすいよう、「わたしが」という主語にしています。
- 山や川、湖、森、環境、生態系、それらのつながりも含めてすべての意味を含め「自然」という表現にしています。

### 3-2. 私たちが大事にする姿勢

以下の5つの姿勢を大切に、奥多摩町の目指す将来像を実現するため「わたし」たち一人ひとりが取り組んでいきます。

#### 1. 「豊かな自然」を大切にします

全域が秩父多摩甲斐国立公園という恵まれた環境であることに向き合い、自然と共生し、観光資源を大切にできるまち

#### 2. 「わたし」=「一人ひとり」を大切にします

年齢や性別、国籍などにとらわれず、一人ひとりの個性が光るまち

#### 3. 「くらしやすさ」を大切にします

今あるものに魅力と安らぎを感じ、暮らししてみたい、暮らし続けたいと思えるまち

#### 4. 「町内外のつながり」を大切にします

奥多摩ならではの顔が見えるつながりと、奥多摩に関わる多様な人との絆を大切にできるまち

#### 5. 「挑戦」と「学び」を大切にします

歴史あるものから学びながら新しい物事に挑戦できるまち

## 《「大事にする姿勢」の基になったキーワード》

住民参加ワークショップなどから整理されたキーワードを基に大事にする姿勢をまとめました。

1. 全域が秩父多摩甲斐国立公園、観光資源の維持・活用、自然との共生（災害に負けない）
2. 年齢、性別、国籍、個性を大切にする、多世代共生
3. ないものさがしではなくあるものさがし、奥多摩ならではのくらしやすさ、移住定住促進、子育て推進、福祉サービスの継続と充実、誰もが安心できる、生涯現役
4. 人と人とのつながり、住民同士のつながり、他自治体や関係人口とのつながり、官民協創、多世代交流
5. 新しい物事への「挑戦」と歴史あるものからの「学び」、生涯学習、歴史と文化、新たな発想、将来への希望が持てるまち

### 3-3. 未来をつくる3つのコンセプト

本計画では、分野での整理ではなく、横断的な視点から「①活性化」「②持続化」「③効率化」の3つのコンセプトから計画をまとめています。



- ①活性化：未来をつくるためには、積極的に新たなものを創造すること、そして、何よりそのために失敗を恐れず挑戦することが重要です。
- ②持続化：まちづくりには過去や歴史からの連続性も必要で、今あるものを大事に守りながら、新たな光をあてることで、継続することも大切です。
- ③効率化：限りある資源を活用し、新たなことに挑戦するためには、時には勇気をもってやめたり、縮小したりすることも重要で、整理・統合することで無駄をはぶくことにもつながります。

## 3-4. 施策の体系

### コンセプト1 活性化

#### 将来像① 生まれる・育む・挑むまちづくり

- 施策の方向性1. 子育て推進
- 施策の方向性2. 起業の支援
- 施策の方向性3. 観光資源の開発
- 施策の方向性4. デジタル化の推進
- 施策の方向性5. 住民参加型事業の開拓・展開

#### 将来像② 作る・繋がる・広がるまちづくり

- 施策の方向性1. 広域連携の推進(庁内連携・他自治体との連携)
- 施策の方向性2. 幅広い世代が参加できる事業の充実・開拓
- 施策の方向性3. コミュニティの形成・活性化
- 施策の方向性4. 多様性の尊重
- 施策の方向性5. 住民サービスの充実

#### 将来像③ 賑わう・満ちる・巡るまちづくり

- 施策の方向性1. まちの活性化
- 施策の方向性2. 観光資源の活用
- 施策の方向性3. 移住・定住促進
- 施策の方向性4. 公共施設・交通機関の充実・利活用
- 施策の方向性5. 暮らしの満足度向上

### コンセプト2 持続化

#### 将来像① サステナブルなまちづくり

- 施策の方向性1. 資源を活かす・大切にすまちづくり
- 施策の方向性2. 子どもの成長を見守るまちづくり
- 施策の方向性3. 誰もが学び続けるまちづくり

#### 将来像② レジリエンスなまちづくり

- 施策の方向性1. 交通インフラの整備されたまちづくり
- 施策の方向性2. 公共インフラの整備されたまちづくり

#### 将来像③ セーフティーなまちづくり

- 施策の方向性1. 災害に負けないまちづくり
- 施策の方向性2. 犯罪・事故から人を守るまちづくり
- 施策の方向性3. 安全・安心して日常生活を過ごせるまちづくり

### コンセプト3 効率化

#### 将来像① スマートなまちづくり

- 施策の方向性1. 効果的な組織運営、人材配置・育成
- 施策の方向性2. 建物の取捨選択と活用の見直し
- 施策の方向性3. 情報発信の改革

#### 将来像② フラットなまちづくり

- 施策の方向性1. デジタル化などによる窓口業務の効率化の検討
- 施策の方向性2. 業務の遠隔化の検討
- 施策の方向性3. 業務負担の平準化と質の維持
- 施策の方向性4. 誰でも同様のサービスを受けられる体制づくり

#### 将来像③ リンク／シェアするまちづくり

- 施策の方向性1. 庁内の知識の共有や職員間の情報共有
- 施策の方向性2. 他自治体との連携強化
- 施策の方向性3. 町の魅力をシェアする
- 施策の方向性4. 住民の意見をシェアする

## 4. 基本計画（案）

住民ワークショップで集めた言葉を若手ワーキンググループで分類し、「活性化」「持続化」「効率化」3つのコンセプトから将来像、施策の方向性や取組み例などをまとめました。

### コンセプト1：活性化（創造する・挑戦する）

#### 将来像① 生まれる・育む・挑むまちづくり

安心して妊娠・出産・子育てができ、将来を担う子ども達が自然豊かな環境の中でのびのびと健康に育つことができるまちづくりを進めていきます。様々な機会を活かし、誰もが挑戦できる環境を整えます。起業や創業支援、町の観光資源の開発なども進めていきます。デジタル化を進めることで、人口減少や地域特性などに対応できるよう病院のウェブ診療や各種申し込みなどを遠隔で行える環境の整備を検討します。

また、農業・林業・観光等を含んだ産業振興計画の策定を検討し、奥多摩町ならではの課を横断した一体的なまちづくりを進めていきます。

#### 施策の方向性①－1. 子育て推進

妊娠期から子育て期の一体的な支援を進めていくとともに、安心して子育てができるよう情報発信の充実を図っていきます。また、学校が終わった後、子どもたちがのびのびと色々なことを学ぶ場として、放課後子ども教室を開催し、安心して預けることができる場を充実させていきます。

##### <取組み例>

- \* 妊娠期から子育て期の一体的な支援
- \* 情報発信の充実（子ども・子育てに特化したホームページの作成など）
- \* 各種助成事業の充実
- \* 放課後子ども教室（わさびーひろば）の充実 等

#### 施策の方向性①－2. 起業の支援

複業やテレワーク、二地域居住の推進など様々な働き方や暮らし方ができるようになってきました。時代の流れに対応し、若者の挑戦を積極的に応援していくとともに、若者だけでなく、誰もが起業など新しいことに挑戦できる環境・体制を整えていきます。また、町内にある空き家などの活用を検討し、地域での拠点づくりや起業、起業支援の場としても活用できるよう進めていきます。

##### <取組み例>

- \* 誰でも起業できる環境の整備
- \* 起業促進・新規事業支援
- \* 創業支援の推進
- \* 拠点としての空き家活用 等

#### 施策の方向性①－3. 観光資源の開発

自然豊かな環境とともに、見落としがちな地域の魅力を発掘し、観光スポットとして充実させていきます。また、特産品の開発や支援の充実、インバウンドを想定した観光資源の開発と環境の整備も進めていきます。

##### <取組み例>

- \* 新たな観光スポットの発掘

- \* 新たな特産品の開発・開発支援の充実
- \* インバウンドを想定した観光資源の開発と環境の整備 等

#### 施策の方向性①—4. デジタル化の推進

人口減少や高齢化、地域格差も考慮し、デジタル化を進めることで格差を補い、時代に合わせて対応していきます。

様々な申請を役所などに出向いて行うことは負担が多く、デジタル化により選択肢を増やし、柔軟に対応できるようにしていきます。

また、医師不足や診療科目の不足などもあり、ウェブ診療など遠隔であっても通常と変わらない診察が受けられるなど、広域的な連携も活用し、安心して暮らしていける環境づくりを進めていきます。

< 取組み例 >

- \* 各種申請手続きも含めたデジタル化の推進
- \* ウェブ診療の検討
- \* オンラインサポートの推進 等

#### 施策の方向性①—5. 住民参加型事業の開拓・展開

奥多摩町は人口が約4500人と、一人ひとりの顔が見える町です。住民の皆さんが、学びや遊ぶことのできる場づくりを進めていきます。また、様々な人が集うことで、アイデアが生まれ、自発的な活動が展開していくと考えます。学び、遊び、集い、一人ひとりが主役となって参加できるよう事業を検討していきます。

< 取組み例 >

- \* 学びの場をつくる
- \* 遊びの場をつくる
- \* 集いの場をつくる 等

### 将来像② 作る・繋がる・広がるまちづくり

人口減少や高齢化により人材も不足し、今までのやり方では対応できなくなることが想定されます。市内での連携をより密にし、他自治体と広く連携し進めていくことが必要です。また、それらに対応していくためには、行政だけでは困難です。住民サービスの充実を図るとともに、多様性を尊重しながら、一人ひとりが主役となって、住民だけでなく観光客や関係人口も参加できる事業を検討していきます。

#### 施策の方向性②—1. 広域連携の推進（市内連携、他自治体との連携）

人材不足が予想される中、課題やノウハウ、情報を横断的に共有するなど、広く連携することで、円滑な業務推進を図ります。また、横断的な市内連携を軸として、各業務にあたることのできるよう、連携しやすい雰囲気、体制づくりを進めていきます。

他自治体でも抱える共通課題も多いため、課題やノウハウなどの情報だけでなく、事業の共同実施やシステムの共有なども想定しながら連携を図っていきます。

< 取組み例 >

- \* 円滑な業務推進
- \* 横断的な市内連携の推進と連携しやすい環境づくり
- \* 窓口のワンストップ化の推進
- \* 他自治体との連携 等

### 施策の方向性②ー2. 幅広い世代が参加できる事業の充実・開拓

住民一人ひとりが主体的になって参加できる事業を推進するとともに、観光客や関係人口も含めて、幅広い世代、多様な人が参加できる事業を検討していきます。

また、獅子舞やお祭り等地域の郷土芸能を次世代に引き継いでいくため、担い手として多様な人が関わっていけるよう検討していきます。

#### <取組み例>

- \* 住民が主体的に参加できる事業の充実
- \* 観光客や関係人口も参加できる事業の開拓
- \* 獅子舞・お祭り等の郷土芸能の充実 等

### 施策の方向性②ー3. コミュニティの形成・活性化

奥多摩町には多くの自治会があります。自治会を存続していくために、運営や運用方法などを改善し、負担軽減を検討しながらも、コミュニティの核となる人とのつながり・交流の部分に重点を置きながら、活性化を目指します。

自主的な団体活動の情報発信など積極的に支援し、一人ひとりが主役となって輝ける場・活躍できる場を広げていきます。

#### <取組み例>

- \* 自治会の活性化
- \* 自主団体活動への支援 等

### 施策の方向性②ー4. 多様性の尊重

人はそれぞれ個性を持っており、十人十色です。一人ひとりが異なることを理解し、お互いの考えや存在を尊重して、多様な考え方、あり方を認め合う、一人ひとりが大切にされるまち、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいきます。

#### <取組み例>

- \* 個性の尊重
- \* 男女共同参画や多文化共生の推進
- \* 外国籍、外国にルーツを持つ方への対応の充実
- \* ジェンダーや障害に捉われない意識の改革と対応の充実
- \* 自殺・引きこもり対策 等

### 施策の方向性②ー5. 住民サービスの充実

少子高齢化に伴い、福祉に掛かる予算は一層大きくなると考えられます。食を含めた健康を軸として、元気で長寿を目指し、医療費の削減にも努めます。また、施設等のユニバーサルデザインを検討していきます。

#### <取組み例>

- \* 福祉サービスの充実
- \* バリアフリー化の推進
- \* 健康増進事業の推進
- \* 食育推進事業の実施 等

## 将来像③ 賑わう・満ちる・巡るまちづくり

奥多摩町は街道沿いと駅周辺に商店が並んでいます。それらの歴史や豊かな自然など奥多摩町らしさを活かしながら、まちの活性化、観光資源の活用を図ります。

公共交通の利用促進や移動が困難な方へ支援を検討していきます。

関係人口の増加と併せ、移住・定住を推進していきます。

買い物の場として、また、コミュニケーションの場として、移動販売などの導入を検討します。観光ごみへの対応として、観光ごみステーションを設置するなど、観光による地域への負荷軽減についても検討します。

また、地域おこし協力隊や集落支援員の積極的な活用を進め、まちの活性化を図ります。

### 施策の方向性③—1. まちの活性化

地域産業の活性化を含め、地元商店と連携したにぎわいづくりを進めます。奥多摩町ではアートやクリエイティブな活動も生活の中に溶け込みつつあります。それらの活動と連動して、日常の中に非日常を演出するなど、身近にアートなどに触れる機会を増やし、まちの活性化につなげていきます。郊外へのオフィス移転、テレワークや二拠点での生活などライフスタイルの転換も図られています。それらの時代の背景等も踏まえ、豊かな自然、受け継がれてきた歴史、魅力的な活動を活かしながらまちの活性化を図っていきます。

<取組み例>

- \* 地元商店との連携
- \* 駅前を中心としたにぎわいづくり
- \* アートやクリエイティブな活動との連動
- \* 地域おこし協力隊や集落支援員の積極的な活用 等

### 施策の方向性③—2. 観光資源の活用

奥多摩町の豊かな自然で育まれる、わさびや治助イモという奥多摩ならではの野菜、鹿肉等のジビエなどがあります。特産物を観光資源として持続的に生産、活用できるよう環境整備や体制づくりを進めていきます。また、車利用の観光客等に対応するため、空き家・空き地を活用した観光駐車場の設置も検討していきます。

奥多摩町には豊かな自然における様々な観光資源があり、内水面漁業や森林セラピー、トレッキング、カヌーなど自然を活かしたアクティビティなどを推進していきます。

<取組み例>

- \* わさび・治助イモ・鹿肉等の特産物の活用
- \* 空き家・空き地を活用した観光駐車場の設置
- \* 内水面漁業や自然系アクティビティ等の推進 等

### 施策の方向性③—3. 移住・定住促進

関係人口の増加と併せ、移住・定住を促進していきます。移住・定住を進めるためには、安心して移住できるような様々な支援、定住環境の整備が重要です。特に若者や子育て世帯への支援を充実させるとともに、空き家バンクなどの活用も進めていきます。

<取組み例>

- \* 移住・定住対策の促進
- \* 空き家バンクの活用
- \* 若者定住応援住宅・子育て応援住宅の整備
- \* 分譲地の整備 等

### 施策の方向性③—4. 公共施設・交通機関の充実・利活用

高齢化により免許返納が増えていくと考えられます。移動が困難な方への支援を検討するとともに、公共交通の利用を促進していきます。

また、新庁舎の建設にあたっては、誰もが集える場として利用していくことを検討します。公共施設においても、既存の利用だけでなく様々な利活用について検討していきます。

<取組み例>

- \*公共交通を利用する機会の促進
- \*移動が困難な方への支援
- \*公共施設の利活用の検討 等

### 施策の方向性③—5. 暮らしの満足度向上

買い物の場として、また、地域におけるコミュニケーションの場として、移動販売等の導入を検討していきます。

観光ごみへの対応として、観光ごみステーションを設置するなど、観光による地域への負荷軽減についても検討します。

地域で生き生きと暮らしていくために、生涯学習や憩いの場を充実させ、地域とつながりながら生活していける機会を増やします。

<取組み例>

- \*移動販売等の導入検討
- \*観光ごみステーションの設置検討
- \*生涯学習の推進
- \*憩いの場の充実 等

## コンセプト2：持続化（続ける・守る・再生する）

### 将来像① サステナブルなまちづくり

奥多摩町の豊かな自然・資源にも限りがあります。これらの資源を維持・保全しながら、ごみの分別や削減等の環境負荷を減らす取り組みを行うなど、豊かな自然環境を次代へ引き継いでいきます。

次代を担う子どもたちが安心して地域で育つことができるよう見守りながら、誰もが学び続けることができるよう様々な取り組みを行います。

資源も人も未来へつないでいけるようサステナブルなまちづくりを進めていきます。

### 施策の方向性①—1. 資源を活かす・大切にすまちづくり

奥多摩町には山や川などの天然資源が豊富にあります。これらの限りある資源を大切に維持管理しながら活用を進めていきます。

<取組み例>

- \*森林再生事業・休耕地活用の検討
- \*空き家の活用・危険空き家対策
- \*獣害対策や資源としての活用の検討
- \*家庭ごみの削減に関する普及啓発
- \*観光ごみの対策 等

### 施策の方向性①—2. 子どもの成長を見守るまちづくり

子どもの成長は、家庭、地域、学校でのそれぞれの見守りが大切です。

地域や家庭で見守る際に、負担を減らしながら見守ることができるような体制づくり

や情報発信を進めていきます。

奥多摩町は水源地であり、豊かな自然や、林業、漁業、山葵栽培など町の産業に触れる体験学習の充実を図るなど、環境を活かした奥多摩町ならではの教育により、のびのびとした発想豊かな子どもたちを育みます。

また、それらの教育を支える教職員の役割は重要です。教職員の質を維持していくため、研修などを通じて幅広い知識を得ることで、子どもたちが学び成長できる体制づくりを進めていきます。大人たちが先生となって地域で学ぶ場など、学校以外での学びの場の検討を進めていきます。施設の改修やICTの活用など学校での教育環境の維持・整備を進めます。

<取組み例>

- \*子育て環境の充実
- \*奥多摩町ならではの体験学習など特色を活かした学校教育の充実
- \*家庭、地域と学校との連携・協働
- \*学びを支える学校環境の整備
- \*町内外への効果的な情報発信の検討 等

### 施策の方向性①—3. 誰もが学び続けるまちづくり

健康であるためには、食育や健康維持についての知識や理解を深めることが大切です。健康で元気に学び続けることができるよう「にっ古里」への参加や福祉会館の機能訓練室の利用促進など体力の向上を図ります。

世代を超えて参加できる学習の場や、教員も学べる環境づくり、奥多摩の環境を生かした体験学習の場づくりを進めていきます。

また、地域で受け継いできた郷土芸能・文化財など郷土愛の醸成を図ります。

<取組み例>

- \*健康増進・健康指導・健診の充実
- \*食育の推進
- \*生涯学習の充実
- \*世代を超えた学習の場や体験学習の整備
- \*社会教育施設の利用促進
- \*文化・芸術活動の推進 等

## 将来像② レジリエンスなまちづくり

奥多摩町は、急峻な地形に集落が点在しており、複数からのアクセスが難しい地域もあり、土砂崩れなどで道路等が寸断されると、災害時孤立する危険性があります。そのため、災害のリスクを少しでも減らし、災害に備えていくためにインフラの整備も重要です。高齢になって車の運転ができなくなっても、他の交通手段があることで安心して暮らしていくことができます。

交通インフラ及び公共インフラの整備を進め、災害時や時代の変化等に対応できるよう、レジリエンスなまちづくりを進めます。

### 施策の方向性②—1. 交通インフラの整備されたまちづくり

災害のリスクを少しでも減らすため、道路の維持補修や緊急車両等が通行できる道路整備等が重要です。

また、人口減少、高齢化等による交通への様々なニーズや変化にも対応できるよう自動運転や乗り合いの検討も進めていきます。

<取組み例>

- \* 町道・林道の維持補修
- \* 災害時緊急車両等が安全に通行できるよう道路整備及び耐震化
- \* 防犯灯の整備
- \* 自動運転交通の検討
- \* 町民同士で乗り合いの検討 等

施策の方向性②ー2. 公共インフラの整備されたまちづくり

災害時に安全を確保するため、避難所となる公共施設の整備や、食糧・水などの備蓄を進めます。

また、避難所での熱中症対策の必要性や、災害が重なることなども想定されるため、それらを踏まえた施設等の耐震化や災害時の連携体制の確立を進めます。

<取組み例>

- \* 災害時に避難所となる公共施設の整備
- \* 町有施設等の改修、維持管理
- \* 地震や台風などの自然災害時の応援体制や広域連携の推進
- \* 公共下水道の維持管理及び耐震化 等

将来像③ セーフティなまちづくり

今後、災害が多くなると予想される中で、インフラの整備だけでなくソフト面での備えが大切であるため、防災意識の向上と防災力強化を図ります。

また、安全に暮らしていくためには、犯罪や事故に巻き込まれないよう、防犯意識の向上と防犯力強化を目指し、普及啓発を図ります。

施策の方向性③ー1. 災害に負けないまちづくり

一人ひとりが災害への意識を持って、地域で危険箇所を把握したり、防災訓練や備蓄の確保、連絡体制を整え、災害を想定した体験や訓練などを事前に行っておくことが、いざという時の円滑な対応につながると考えます。

火災や災害時など有事の際に大きな役割を担う消防団についても、活動内容や処遇改善を検討し、有事の際に活躍できるよう体制づくりを進めていきます。

<取組み例>

- \* 災害時における近隣自治体等との連携の強化
- \* 災害時情報連絡体制の強化
- \* 消防団員の加入促進・処遇改善、資機材の充実
- \* 地域での危険箇所の把握や防災訓練の実施
- \* 災害体験等の実施
- \* 備蓄の確保 等

施策の方向性③ー2. 犯罪・事故から人を守るまちづくり

交通事故に合わない・起こさないために、交通安全への正しい知識が大切です。交通ルールを守るだけでなく、反射材を身に着けるなど、自分で積極的に身を守る対策も大切です。また、SNS等での犯罪やトラブルも増えています。情報モラルへの理解とそれらの危険性を認識し、犯罪に巻き込まれないようにしていくことが大切です。また、詐欺なども多様化・高度化しており、それらの情報や対策を地域で共有し、声を掛け合うことも大切です。

防犯意識の向上と、防犯力強化を目指し、普及啓発を図ります。

<取組み例>

- \*交通ルールの普及啓発
- \*交通安全講習会の充実
- \*SNS・インターネットトラブル、情報モラルの普及啓発 等

施策の方向性③—3. 安全・安心して日常生活を過ごせるまちづくり

人と人とのつながりや助け合いを大切に、全ての人が安全で安心して生活できるようサービスや事業の充実を図ります。ただし、行政サービスだけでは全ての対応は困難です。地域行事参加など日頃からのコミュニティへの参加や地域での見守り活動を通じ、地域とのつながりを持ちながら、“お互いさま”で助け合いのまちづくりを進めていきます。

<取組み例>

- \*地域での見守り活動の充実
- \*ICTなどを活用した見守りの充実
- \*生活困窮者への経済的支援の継続
- \*障害者地域生活支援事業等の充実
- \*町内で子どもが遊べる場の検討
- \*認知症の人やその家族に対する支援の継続
- \*地域医療の充実 等

コンセプト3：効率化（無駄をはぶく・まとめる・やめる）

将来像① スマートなまちづくり

人口減少、高齢化が進む中で、限られた予算、人材で複雑化する課題や目まぐるしく変化する時代に対して町として取り組んでいく必要があります。希望する事業をすべて行っていくことは困難です。町として取り組む優先順位をつけ、取捨選択をしながらまちづくりを進めていく必要があります。取捨選択するだけではなく、今までの業務や取り組みの効率化を図りながら進めていくことも重要です。行政サービスを支える庁内の効果的な組織運営や人材育成等、また、効果的な情報発信などを行っていくことが大切です。

暮らしの最適化を考えながら、分かりやすい、伝えやすいスマートなまちづくりを進めます。

施策の方向性①—1. 効果的な組織運営、人材配置・育成

人口減少、高齢化とともに、世の中はさらに複雑化し、町が直面する課題もより増えてくることが想定されます。まちづくりを担う行政職員が、力を十分に発揮できる環境・体制を整えることが重要です。適材適所な人材配置と育成、また、業務負担の軽減や円滑な業務運営を図るため、人事異動のサイクルや専門職員の配置などを検討するとともに、各事業での知見やノウハウなど、担当が変わっても引き継いでいけるような体制を整えていきます。

<取組み例>

- \*ジョブローテーションの見直しや、専門職員配置の検討
- \*基礎研修等の実施による人材育成
- \*効果的な職場配置の検討
- \*事務手順等のマニュアル化による業務の円滑化 等

### 施策の方向性①—2. 建物の取捨選択と活用の見直し

建物の維持管理には費用が掛かるため、機能集約や、複合化、縮小など、施設活用の見直しを図ることが求められます。施設の活用にあたっては、オンラインネットワークを活用するなど新たな手法も検討していきます。

また、長年放置された空き家などは倒壊等の危険や防犯の観点からも、除去を含めた利活用等を検討していきます。

<取組み例>

- \* 既存施設の有効活用と必要に応じた施設の機能集約・複合化・縮小の検討
- \* 施設のオンラインネットワーク化など新たな手法の検討
- \* 空家等活用促進事業交付金の活用 等

### 施策の方向性①—3. 情報発信の改革

様々な情報が世の中にあふれる中、行政から伝えたい情報が埋もれてしまう傾向があります。必要な情報にアクセスしやすくすることで、情報が効果的に活用されるものと考えます。

役場からの情報発信は、多言語化ややさしい日本語、音声認識付き機能を活用するなど、様々な人が受け取りやすい方法を検討していきます。

また、役場からの発信だけでなく、住民同士が情報交換・交流できるツールなどを検討するとともに、今までのコミュニケーションを大切にしながらデジタル化等による負担軽減についても検討していきます。

<取組み例>

- \* チャットボットの活用などによる行政情報のスムーズな取得促進
- \* 多言語化や音声認識付き機能の活用による情報発信の検討
- \* 住民同士の情報交換・交流ができるツールの検討
- \* 回覧板等のデジタル化の検討 等

## 将来像② フラットなまちづくり

コロナ禍を経て、オンラインでの会議や申請も一般的となりました。デジタル化を進めていくことで、窓口のワンストップ化や遠隔地とのオンライン接続など、地域格差解消や移動時間及び業務負担の軽減により、多様な働き方の実現、効率的な事業展開が可能になると考えられます。

職員誰もが円滑に業務を行えるようマニュアルの作成や、スペシャリストの育成などを行うことで、情報が集積され、質を保ちながら業務対応できるよう検討します。同じ目線でみんなと育むフラットなまちづくりを進めます。

### 施策の方向性②—1. デジタル化などによる窓口業務の効率化の検討

住民及び職員の負担軽減のため、申請などのデジタル化を進めていくことで、窓口のワンストップ化を検討します。紙との併用を行いつつも、端末による書き損じ等のチェック機能で業務の効率化を図ります。

<取組み例>

- \* マイナンバーカードの活用や窓口のワンストップ化
- \* 窓口での端末利用の推進 等

### 施策の方向性②—2. 業務の遠隔化の検討

デジタル化の導入とともに業務の遠隔化を行うことにより、移動時間が軽減されるこ

とで、多くの行政サービスを効率的に提供できると考えられます。

継続的な訪問が必要な業務などにタブレット等を活用し、オンライン訪問を実施するなど、新たな業務の在り方を検討し、より多くの対象者とのコミュニケーションに充てるなど、業務の転換による効率化を図ります。

職員の不足や業務の増加にも柔軟に対応できるよう、多様な働き方を検討していきます。

<取組み例>

\*タブレット等を活用したオンライン訪問などの検討

\*多様な働き方の検討 等

### 施策の方向性②—3. 業務負担の平準化と質の維持

質の高い行政サービスを提供するため、マニュアルの整備やスペシャリストなどの育成を検討します。また、効果的な組織運営ができるよう組織体制の見直しも検討します。

<取組み例>

\*質の高い行政サービスの提供を可能とするマニュアルの整備

\*組織体制の見直しによる業務負担の平準化

\*業務内容に応じたスペシャリストなどの育成検討 等

### 施策の方向性②—4. 誰でも同様のサービスを受けられる体制づくり

総合案内の設置や多言語化、オンラインサービスの活用により、誰でも同様のサービスを受けられる体制づくりを目指します。

<取組み例>

\*総合案内の設置の検討

\*申請窓口の一元化の検討

\*ピクトグラムなどの標示の明確化による施設の利便性向上

\*多言語化ややさしい日本語、音声認識付き機能によるサービス案内の検討

\*オンラインサービスの活用による事業などに参加しやすい体制づくり 等

## 将来像③ リンク／シェア するまちづくり

職員間の情報共有や他自治体との連携により、効果的・効率的な業務運営を行っていきます。既存の情報を効果的に集約するとともに、魅力を再発見し、地域一体となった情報発信の検討を進めていきます。

また、住民同士が情報交換・交流できるツールなどを検討していきます。

情報や知識をリンク／シェアするまちづくりを進めます。

### 施策の方向性③—1. 庁内の知識の共有や職員間の情報共有

事務手順や根拠法令等の明確化など、庁内における情報共有を通じて、業務の属人化防止や担当不在による質の低下防止につなげ、より効果的・効率的な行政サービスの充実を図ります。

<取組み例>

\* 職員間の情報共有による効果的・効率的な業務運営 等

### 施策の方向性③ー2. 他自治体との連携強化

他自治体と連携して情報共有を行うことで、業務の効率化を検討していきます。

<取組み例>

\* 既存の会議体との連携継続

\* 自治体担当者同士の連携強化 等

### 施策の方向性③ー3. 町の魅力をシェアする

発信される情報を効果的に集約していくことを検討します。また、行政の情報発信だけでなく、地域一体となって、インバウンドを含めた観光客や関係人口に向け、町の魅力や情報を発信していきます。

<取組み例>

\* 町の魅力の共有と発信方法の検討

\* インバウンドを含めた観光客や関係人口に向けた魅力発信 等

### 施策の方向性③ー4. 住民の意見をシェアする

パブリックコメントや意見交換の場だけでなく、住民同士が情報交換・交流できるツールなどを検討していきます。

<取組み例>

\* 困りごとなどを共有する場の検討

\* 住民同士が情報共有できるツールの検討 等